

# どんぐり山行通信 第170号

2022年7月16日(土)  
~17日(日)

曇り  
参加者 14名

鶴ヶ島



どんぐり山行会

## 一切経山(いっさいきょうざん 1,949m)と五色沼トレッキング

実施が危ぶまれていた今年の1泊山行だったが、メンバー同士の協力が実り、ビジターの武田さんを含め14名で出発することができた。今回のドライバーは深沢さん。矢板付近の高速を順調に走るバスの車窓からは、こちらに手を振るかのようにヤマユリがたくさん咲いていた◆磐梯熱海ICで高速を降り、中ノ沢温泉を経由して浄土平へ。厚い雲に覆われているが吾妻小富士や一切経山など周辺の山々は何とか見える。ここで川上さんと久津間さんのお二人と別れ、他の12名は二人に見送られながら登山開始。今日のリーダーは伊藤さん◆歩き始めて1時間ほどで酸ヶ平に到着。立派な避難小屋が建っていたが、ここから一切経山への登りが始まる。といっても40分ほどの緩やかな登りで、途中で振り返ると吾妻小富士が絵葉書を見る様な形でよく見えた。さらに山頂から20m程進むとそれまで全く見えなかった北側の大パノラマが突然現れ、眼下には幻想的な色を混えた天空の五色沼が広がっていた。この絶景の沼は「魔女の瞳」と呼ばれているという◆山頂で昼食を摂り、時々雲間から顔を見せる磐梯山と安達太良山を遠望しながら山を下る。酸ヶ平に戻ってからは、予定を変更して東吾妻山は省略し、鎌沼を巡るコースを進む。このコースは高山植物が豊富で、ちょうどコバイケイソウが見ごろを迎えていた。他にもミヤマリンドウ、ハクサンシャクナゲなどが次々に現れる。ただ浄土平が近づくと、激しい雨水で削られた道が水たまりとなって続き、かなり手こずる。浄土平に無事到着したあとは、中ノ沢温泉朝日屋旅館に向かい、ゆっくり温泉につかり夕餉の席◆2日目は裏磐梯高原駅(物産館)までバスで行き、五色沼自然探勝路を歩く。陽が射し汗ばむほどであったが、特有の色を混えた五色沼と裏磐梯の景色を楽しめた。今回は全国各地で大雨注意報が出ていて、雨覚悟での山行であったが、天のご加護を得て雨具の出番は全くなかった。山からの景色に恵まれ、花にもたくさん出会い、温泉を堪能。稀に見る運のよさだった。今回いろいろ手配して下さった伊藤さん、諸費用の経理を担当して下さいました齋藤さんに感謝。(南雲記)





二日目



1日目:北市民セ 6:00 →大谷 PA7:30 着 7:40 発 →五百川 PA9:05 着 9:15 発 →磐梯熱海 IC9:20→(中の沢温泉 9:45)  
 →浄土平駐車場 10:45 着、10:55 発 →酸ヶ平(すがだいら) 12:00 →一切経山山頂 12:55(昼食) 13:30 →酸ヶ平 13:50  
 →浄土平 15:40 バス発 15:50→中ノ沢温泉朝日屋旅館 16:40 着、入浴後夕食 18:30 より  
 2日目:朝食 8:00 バス発 9:00 →裏磐梯物産館 9:30 着 9:40 出発 →毘沙門沼 11:20 →ビジターセンター五色沼入口  
 11:30 (昼食)バス発 12:20 →猪苗代磐梯高原 IC12:50 →黒磯 PA14:00 着 14:10 発 →菖蒲 PA15:30 着 15:45 発 →  
 (鶴ヶ島 IC16:00) →北市民セ 16:20 @22,000